

● WINDS CAFE 301 in 原宿 ●

## 【打楽器百花繚乱 IX —Roll over cage—】

2022年1月30日(日) カーサ・モーツァルト

14時開演 15時45分終演予定

### Mizuki AITA Profile

1988年宮城県仙台市生まれ。2010年日本現代音楽協会主催「競楽IX」第二位入賞と同時にデビュー以降、これまでに300作品以上の新作初演を手がけ「初演魔」の異名をとる打楽器/ヴィブラフォン奏者。2019年第10回JFC作曲賞

入選、2021年リトアニア聖クリストファー国際作曲コンクールLMIC特別賞を受賞するなど作曲家としても広範に活動。2020年発売の最新アルバム「いつか聞いたうた ヴィブラフォンで奏でる日本の叙情」は年間最優秀ディスクとなる第59回レコードアカデミー賞を獲得。そのほかサライ推薦はじめ各紙より絶賛を受けた。ヴィブラフォン、現代作品の魅力を多彩に紹介した成果により令和2年度大阪文化祭奨励賞、令和3年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。かなっくホールレジデントアーティスト。



ホームページ・<http://mizukiaita.tabigeinin.com>

ご挨拶にかえて

會田 瑞樹

ウインズカフェへの登場も打楽器百花繚乱シリーズとしては9回目を数えることになり、改めて川村龍俊さんへの感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございます。そんな9回目は、演奏曲目が当日まで非公開というものになりました。ぎりぎりまで自分自身、何ができるのか探っていたという思い。そして、川村さんからの「ジョン・ケージにちなんだ何か」という言葉に最後まで苦悩する時間が必要でした。

ジョン・ケージがヴィブラフォンを好まないように、僕は彼の音楽を好みません。好まないからといって拒絶しているわけではありません。初めて買ったジョン・ケージの楽譜への興奮と困惑、中学二年生の時に実演に接し興奮した《リビングルームミュージック》、授業の中で《Amore》を演奏したり、《龍安寺》も二度ほど演奏しました。飄々とした風貌に、意味深長な言葉や行動を通して、20世紀後半の音楽を牽引した偉大な人物。その功績は疑いようありません。

ところで、1912年に生を受けた彼の10年ほどあと、アメリカで不思議な楽器が生まれました。その名前をヴィブラフォンと申します。マリンバのノウハウを鉄に置き換えつつも、ダンパーペダルを装着し、独自の性能を備えた楽器は少しずつその存在感を確かなものにしていきました。

二つの共通点は「アメリカ合衆国」にあります。

本日の演奏会は1939年に出版された世界でも初となるヴィブラフォンの教則本「Modern Vibraharp Method」に採録されている38曲の小さな音楽を演奏します。いずれもアメリカに由来する音楽ばかりで、ヴィブラフォンが楽器として歩み出す事始めをお楽しみください。続いてその2年後である1941年に出版された全四巻からなる「Master Solo Arrangements Vibraharp Vibraphone and Vibra-celeste」の中からの作品を演奏いたします。類い稀なマリンバ・ヴィブラフォン奏者であり、作曲家、発明家でもあったクレア・オマー・マッサー(1901-1998)による編曲の妙をお楽しみください。

1月30日は會田瑞樹が尊敬するフランシス・プーランクの旅立ちの日でもあります。ギターのための作品《Sarabande》をヴィブラフォンアレンジで。さらにバッハによるサラバンドとフーガをお楽しみいただきます。

本演奏会のために會田瑞樹が構成した《Roll over cage》は會田瑞樹が事前に製作したテープとヴィブラフォンそのほか楽器による生演奏が加わります。

そして演奏会はジョン・ケージの代表作である《4分33秒》で締めくくられます。

最後までごゆっくりお楽しみください。本日はありがとうございました。

## Program

Clair Omar Musser and Paul Yoder

Modern Vibraharp Method

1. 《Twinkle, Twinkle, Little Star》民謡
2. 《Lightly Row》民謡
3. 《Rousseu's Hymn》賛美歌
4. 《Jolly old St. Nicholas》クリスマスソング
5. 《Abide with me》賛美歌
6. 《At pierot's door》民謡
7. 《Good king Wenceslas》英国賛美歌
8. 《Du, Du, Liegst Mir im Herzen》ドイツ民謡
9. 《Faith of Our Fathers》賛美歌
10. 《Sun of my soul》賛美歌
11. 《Long Long Ago》民謡
12. 《Merry Widow》レハールのオペラ
13. 《Jingle Bells》クリスマスソング
14. 《Andantino》
15. 《The Little Indians》童謡
16. 《Love's old sweet Song》アイルランド民謡
17. 《Santa Lucia》ナポリ民謡
18. 《Music in the Air》
19. 《Boat Song》童謡
20. 《Aloha Oe》民謡
21. 《Drink to me only with thine eyes》古いイギリス民謡/シェイクスピアの歌詞
22. 《It came upon a midnight clear》クリスマス賛美歌
23. 《Dream of Love》リスト作曲《愛の夢》
24. 《The Merry Swiss Boy》
25. 《Maryland, My Maryland》アメリカ合衆国歌
26. 《The Old oaken Bucket》アメリカ合衆国歌
27. 《Juanita》アメリカ合衆国歌
28. 《Hear Dem Bells》アメリカ合衆国歌
29. 《Silent Night》クリスマス賛美歌
30. 《Blue bells of Scotland》スコットランド民謡
31. 《Lullaby》アメリカ合衆国歌
32. 《Vilia》レハールのオペラ
33. 《All thru the Night》ウェールズ民謡
34. 《Good Night Ladies》童謡
35. 《Stars of the sumer night》アメリカ合衆国歌
36. 《Dark Eyes》ロシア民謡
37. 《Londonderry Air》アイルランド民謡
38. 《Annie Laurie》スコットランド民謡

Arr by Clair Omar Musser

Master Solo Arrangements Vibraharp, Vibraphone and Vibra-celeste

## Intermission

Francis Poulenc(arr.Mizuki Aita)

Sarabande for Vibraphone

Johann Sebastian Bach(arr.Mizuki Aita)

Sarabande h-moll

Johann Sebastian Bach(arr.Mizuki Aita)

Fuga g-moll

Mizuki Aita presents

Roll over cage

John Cage

4'33"

---